

## 外部アンケートに関する所見

### 【学校生活・総合】について

中学1年生においては例年高い評価を得ていますが、今年度は特に良い評価となっています。高校3年生においても最終学年で少し評価が上がっています。保護者の評価が高く、生徒からの評価も高いもの、保護者の評価が高いが生徒からは厳しい評価を受けているもの、その逆もあります。個々の教員が良い点は継続できるよう努力しますが、課題がある項目は洗い出し改善の方策を他の意見をまじえて検討し、実践するようすすめていきます。個人で改善すべき点、学年で取り組む点、学校全体で取り組むべき点など整理して、改善に向けて検討します。

### 【学習指導】について

学習指導の評価の結果から、一人一人の生徒の学習実態の把握という面で課題があると思われまます。教員自身の評価と生徒保護者の評価にギャップがある項目は、その原因を把握する必要があります。わかる授業、一方向からの注入型でない授業で、理解の程度を確認しながら進めるというきめの細かい指導をさらに推進する必要があります。経験のある教員の授業を見学するなどの研鑽も更に進めていきます。

### 【生徒指導】について

今年度後半はかなり生徒の日々の生活は落ち着いていました。取り組みの成果であると考えられます。学校評価で指摘を受けた点に関しては、後半ではかなり改善出来てきています。生徒からの評価において、教員と生徒とのコミュニケーション不足が原因だと思われる点があります。生徒指導の原点は先ずは生徒との信頼関係を築くことであり真摯に受け止めて改善を図ります。

### 【行事・クラブ活動】について

学校行事については、昨年度、今年度と見直しを行い学習とのバランスを図ってきました。今後は、行事を精選する中で一つ一つの行事について、教科学習との連携も踏まえて、目的を明確にし、生徒の満足度を上げることが重要と考えます。クラブ活動については、技能の上達だけではなく、社会性、規範意識、友達や後輩への思いやり、辛抱強さなどクラブ活動で育てたい力を指導者が一層意識して、指導に当たります。

### 【進路指導】について

高校3年生においては、保護者、生徒ともに評価を得ていますが、低学年においては評価が低くなっている項目があります。殊に、高校での評価を上げるために1年生から綿密な系統だった指導と周知が必要です。中学についても高校進学へ向けての指導という観点で、意識を高く持たせるための取り組みを行うことが必要です。

### 【保護者連携】について

連携に関わるいくつかの項目で連携の一層の取り組みが求められます。中学1年生及び高校3年生では評価を頂いていますが、その他の学年では更なる努力が望まれます。学年通信やWebページでの掲載についても、学年間の差がありますが、こうした点も活発に行っている学年にそろえられるよう各学年の努力が必要です。

**【施設・安全管理】**について

今年度、施設の破損は極めて少なく、安全管理についても、いい評価をいただいています。生徒自治会と共に日々の安全管理についての取り組みをさらに推進していきます。

**【次年度の改善と取り組み】**について

今年度は授業力の向上を学校目標の柱の一つとして取り組んできました。分かる授業ができているのか、双方向の授業になっているのかの点検をさらに進めていきます。課題として明確になったものは重点化して改善を図り、満足度を高めます。

2014年3月31日

追手門学院大手前中・高等学校

原田 哲次